

17. 卒業生・修了生への支援活動

1) 再就職や進学・就職・国家試験への支援

卒業生に対しては、看護研究指導教員を中心に、メールや面談による相談を受けて、キャリアアップ支援を継続している。また、高知女子大学看護学会および高知県立大学看護学部同窓会の機会を通して、卒業生と交流する機会をもっている。さらに、3回生対象の「先輩から話を聞く会」や「3回生看護学部保健医療系就職ガイダンス」で、講師として招いた県内在住の卒業生が、この機会に看護研究指導教員のもとを訪れ、キャリアアップに関して相談するなどしていた。また、各専門領域の教員は、卒業後5年前後の人を対象に、大学院進学への相談を実施したり、大学で実施している教育研究活動・地域貢献活動・ケア検討会への参加を促したりして、卒業生のキャリアアップ支援を継続している。なお、今年度は国家試験受験対象となる卒業生はいなかった。

2) 高知県内の卒業生に対するキャリア支援

看護学部卒業生繋がり・キャリア支援プロジェクトを立上げ、2年が経過した。このプロジェクトを中心に、主に高知県内に就職した概ね5年目までの卒業生の就業継続とキャリア支援を、看護学部全体で行うことになった。

令和5年度は、看護学部で利用できるスマートフォン2台を活用し、公式LINEを開設した。今年度は、日本国際保健医療学会西日本地方会開催、特別講演開催、看護研究発表会と卒業式の情報提供を行った。公式LINE開設の周知については、看護相談室のチラシへの同封、既存の卒業生用LINEへのお知らせ、在校生、教員へのチラシ配布、メールでのお知らせによって、3月までに111名の登録があった。直接、卒業生と交流する機会を持つことはできなかったが、今後は、有料システムも活用し、在校生の時期から繋がりを意識し、継続した支援を検討する予定である。今後は、看護学部の行事、卒業生・修了生向けの看護相談室やリカレント教育、推薦図書案内、大学院進学情報、高知県内の就職情報、教員の学会学術集会参加情報なども発信予定である。

3) CNS認定等の支援

看護学研究科博士前期課程では、平成12年3月に1期生が修了して以来、専門看護師の認定試験に向けて支援を行っている。大学院修了前に主指導教員は、大学院生の背景や個別性を尊重し、修了後の資格認定までの計画を学生とともに立案している。修了後は、その計画に沿って定期的に事例検討会や勉強会の開催、コンサルテーション、大学院の特別講義の連絡や講師依頼、共同研究、先輩CNSの紹介などを行い、CNS認定及び認定更新への支援をしている。

令和5年度までに専門看護師コースを修了し、認定試験に合格した専門看護師は、9領域156名であり、研究コース、実践リーダーコースにおいては修了後、27名が認定看護管理者の資格を得て、活躍している。令和5年度は、がん看護CNS1名、慢性疾患看護CNS1名、急性・重症患者看護CNS1名、小児看護CNS1名、精神看護CNS3名、家族支援CNS2名、在宅看護CNS1名、老人看護CNS1名の計11名の修了生がCNS認定試験に合格し高度実践看護師として活動している(表1)。

表1 修了生の専門看護師・認定看護管理者認定数

領域	がん看護	慢性疾患看護	急性・重症患者看護	小児看護	精神看護	家族看護	地域看護	在宅看護	老人看護	看護管理	合計
令和5年度	1	1	1	1	3	2		1	1		11
総計	47	5	11	27	24	22	2	12	6	27	CNS:156名 認定看護管理者:27名

4) 看護学部同窓会活動

令和5年度、看護学部同窓会役員一覧は、表2の通りである。

表2 令和5年度同窓会役員

役員名	氏名	卒業・修了期	所属
会長	中山洋子	16期生	文教学院大学大学院
副会長	藤田佐和※1	28期生	高知県立大学看護学部
	中野綾美	27期生	高知県立大学看護学部
書記	田鍋雅子	38期生・修士13期生・博士18期生	高知医療センター看護局
	山中福子	修士7期生	高知県立大学看護学部
会計	川上理子	35期生・博士9期生	高知県立大学看護学部
	西内舞里	46期生・修士12期	高知県立大学看護学部
会計監査	野田真由美	34期生	高知市保健所
	矢野智恵	38期生・修士1期生・博士17期生	高知学園短期大学
庶務	角谷広子	25期生・修士5期生	芸西病院看護部
	池添志乃	34期生・修士2期生・博士1期生	高知県立大学看護学部
	川本美香※2	修士13期生・博士18期生	高知県立大学看護学部

但し、※1：看護学部長、※2：看護学会役員は当て職である

(1) 令和5年度の活動

- ①令和5年度同窓会総会の開催
- ②役員会の開催
- ③講演会(高知女子大学看護学会との共催)
- ④会報(第27・第28号)の発行
- ⑤学生及び同窓生活動への支援
- ⑥高知女子大学看護学会への支援
- ⑦緊急奨学金貸与および給付型特別奨学金

(2) 活動の実際

- ① 令和5年度同窓会総会の開催

COVID-19感染拡大防止と会員皆様の健康と安全面への配慮から、令和5年度の同窓会総会の対面での開催を中止し、文書(議決権)送付による総会とし、議案賛否の回答をいただく形とした。議事として、(1)令和4年度活動報告、(2)令和4年度決算報告、(3)令和4年度会計監査報告があつ

た。また、審議事項として、(1)令和 5 年度活動計画案、(2)令和 5 年度予算案、(3)令和 5 年度同窓会役員について審議し、承認された。

② 役員会の開催

役員会は、3 回開催した。第 1 回役員会は、本年度の活動、会報、総会および懇親会の企画、給付型特別奨学金等について審議し、役割別年間スケジュールが確認された。第 2 回役員会は、同窓会総会の企画、会報第 27 号、同窓生への活動支援について審議された。第 3 回役員会は、会報第 28 号、令和 6 年度活動案、同窓生への活動支援等について審議された。

③ 講演会の開催(高知女子大学看護学会との共催)

講演会は、7 月 22 日高知女子大学看護学会との共催で対面とオンラインのハイブリッドで開催された。今回のメインテーマは「看護におけるイノベーションの創出」であり、学会員と一般参加者合わせて 125 名の参加があった。

テーマ：「社会のニーズに応える看護イノベーションの挑戦」
講師：福井小紀子先生
(東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科 教授)

④ 会報の発行：令和 5 年度は、第 27 号と第 28 号の 2 回の会報を発刊した。

a. 第 27 号の発行

第 27 号は、令和 5 年度同窓会総会の報告に合わせて令和 5 年 10 月 26 日に発行した。本号では、令和 5 年度同窓会総会報告、同窓会役員紹介、令和 4 年度活動・会計報告・令和 5 年度予算案、第 49 回高知女子大学看護学会報告、7 月 23 日に開催された看護開発研究会報告、看護学部は今等を掲載した。

b. 第 28 号の発行

会報第 28 号は令和 6 年 3 月に発行した。本号では、活躍されている卒業生・修了生による報告、メッセージ、活動支援を行った家族看護学会学術集会報告等で構成した。

⑤ 学生及び同窓生活動への支援

- ・日本家族看護学会第 30 回学術集会（2023 年 9 月開催 学術集会長 山崎あけみ）支援
- ・映画「咲む」上映会及び手話文法勉強会（2023 年 9 月開催 UOK 手話サークル代表 4 回生徳永旭）支援
- ・看護開発研究会シンポジウムへの支援
- ・卒業生への記念品

⑥ 高知女子大学看護学会との共催

平成 25 年度より、高知女子大学看護学会へ毎年資金支援を行っており、令和 5 年度は、30 万円の支援であった。同窓会発足当時より、高知女子大学看護学会との共催で講演会を開催しており、今後も、両者の連携を図りながら、学術の進化、ネットワークの拡大に努めていく方針である。

⑦ 緊急奨学金貸与および給付型特別奨学金

令和 5 年度の給付型特別奨学金の貸与について、1 件行った。